

ローズライフ

Rose Life Vol.13 秋 2012



文豪の旧居にくつろぐ。

東洋の古美術に心を惹かれ、志賀直哉が奈良に居を移したのは、大正14年の春。昭和4年、46歳の折には奈良公園近くの「高畑」に新居を構え、家族とともにそこで9年間を過ごしました。家族や人間同士の理想的な姿を完成させようとした奈良での暮らし。その想いが志賀直哉旧居に込められています。



学校法人奈良学園セミナーハウス 志賀直哉旧居

発行 京阪ライフサポート株式会社 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町14番1号 京阪くずは体育文化センター12F 電話072-8680321

ローズライフ インタビュー

渡邊かず子さん 94歳 (大正7年生まれ)

心が強いから、こうして長生きしているんやと思います。



生まれは東京です。男三人、女四人兄弟の三番目で、小学校五年生まで東京で暮らしていました。父は官吏で家も広く、のびのび暮らしていましたが、父の仕事の都合で小学校六年生の時、京都の伏見へ来ました。はじめての土地で珍しかったので、当時は兄と一緒によく京都の町を探検していました。

女学校は京都府女子師範学校で、卒業後は小学校の教員になりました。左京区や丹後、宮津といろんなところで働いて、間に戦争もあつたけど、そんなに怖い目にはあつていません。厳しい先生だったんですよ。お行儀が悪かったりしたらよく叱っていました。でも本当は、教えると言うより子どもたちと遊んでたんやね。大人のガキ大将です。四十二歳で教員を辞めて、あとは主人とふたりでのんびり暮らしてきました。

平成十九年にここに来てからも、毎日マイペース。催事にはできるだけ参加しますし、スタッフと一緒に

いく買物も楽しみです。小さな子どもを見かけたら声をかけたくなるのは、やっぱり教師やったからかなあ。天気の良い日には中庭を散歩します。花壇を見たり、空を見るのが好きで、きれいな空を見上げてみると気持ち晴ればれる。

この歳まで生きてるということは、体も強いけど、負けん気も強いという事です。名前は「かず子」やけど、みんなから「かず公」と呼ばれていくくらいやからね(笑)。好きなものは好き、嫌いなことは嫌い。体もそうやけど、心が強くないと、この歳まで生きてないかな。(ローズライフくずは 二階サロンにて)



ホーム見学会 申込受付中!

ローズライフ高の原 ラウンジ&中庭

介護付有料老人ホーム
ローズライフくずは
 ケアを必要とされる方に...
 ホーム見学会 10/21① 11/3② 18③ 12:30-
 ☎0120-877-602 大阪府枚方市 楠葉朝日1丁目2番5号

住宅型有料老人ホーム
ローズライフ高の原
 自立した生活をお過ごしの方に...
 ホーム見学会 10/19④ 28⑤ 11/10⑥ 10:30-
 ☎0120-716-602 京都府木津川市 相楽台9丁目1番地5



多くの芸術家、文化人が集った高畑サロン。

志賀直哉が設計したこの建物は、数寄屋造りを基調としながら、随所におしゃれで遊び心のある意匠が施されています。特徴的なのは、やはり洋風の食堂兼娯楽室とサンルームでしょうか。

食堂の格子を見ると、正方形と長方形が組み合わされていますし、柱は奥にいくにしたがって四対三対二の割合で間隔が狭くなっています。何間、何尺という日本建築の長さの単位を使わず、遠近法をもちいて空間に広がりをもたらしているんですね。建材としては赤松と白樺を自在に使い分けています。直哉が属していた白樺派にちなんでのことでしょう。

うが、この建物には白樺がとても多く使われています。

サンルームは、よしず、すす竹、白樺で天井を設え、床には磚といつて黒瓦の一種を敷きつめています。多彩な素材が使われ、建築当時は色彩も豊かだったと思います。部屋の隅に、つくばいに見立てた井戸風の手洗いを設けているのも面白いですね。このサンルームには武者小路実篤、小林秀雄、尾崎一雄、足立源一郎、梅原龍三郎をはじめ、多くの作家や画家、文化人が集まり、「高畑サロン」と呼ばれるようになりました。文化活動の核にもなり、とても賑わっていたようです。

いきいきコラム

13 姿勢を矯正 背筋を伸ばして若々しく、体幹を意識してストレッチ。

健康教室などでお話をさせていただけの際、私はいつも普段の姿勢がいかに大切かと言うことをお伝えしています。加齢とともに姿勢は前かがみになりがちです。横から見て、頭が肩のラインより前に出ているら要注意。背中やお腹周りの筋肉が衰えて、前かがみになっている証拠です。良くない姿勢は腰痛や膝痛を引き起こす要因にもなります。簡単な棒体操で体幹を整えて姿勢を矯正、正しい姿勢は若々しくハツラツとした印象を与えるだけでなく、ご自身の気分もシャッキリ！ 洋服も着映えし



京阪ライフサポート株式会社
ローズライフ事業部 副部長 眞藤英恵
ケア事業部 次長 眞藤英恵
理学療法士。病院、在宅訪問で高齢者ケアと健康増進に携わり、2003年入社。現在に至る。

て、おしゃれが楽しくなりますよ。棒は肩幅より長く(90cm位)握りやすい太さのものを「用意ください。新聞紙を巻いて棒状にしたものでもOKです。運動をする際には、反動をつけずゆっくり大きく動かしましょう。

ローズライフ



高の原
お店探索

無添加・無香料、ほっとする体にやさしいパン
ブルーランジュリー フルール

昔ながらの製法で、無添加、無香料の体にやさしいパン作りをしています。特に、やわらかくしっとりとした食パンはパン耳も薄くておいしい！と大評判。十月からは、自家製のマロンクリームをデニッシュ生地のにせたモンブランがおすすすめです。朝七時から営業しているの、フルールの出来たてパンで朝食を...という方も多いのだとか。

京都府相楽郡精華町桜が丘3-14-5 営業時間:7:00~18:00
TEL. 0774-73-2929 毎週月曜日・第3火曜日 定休

京のお菓子歳時記「秋」

素朴な大豆の香りと風味に癒される
「もみじ」州浜

州浜と言う名前は、浜辺と入江の姿を現した、めでたい州浜紋からきており、炒りの浅い大豆粉を砂糖と水飴で練った生地のことを言います。大豆粉を深く炒ると黄な粉になるので、和菓子の材料は繊細ですね。湿気と高温に弱いので、おもに秋から冬にかけて作られます。やわらかいので細工がしやすく、仕上げは砂糖を丁寧にまぶして、京の「もみじ」のできあがり。(文 十代目女将)

創業享保元年 京菓子司 笹屋伊織
本店 京都市下京区七条大宮西入 TEL.075-371-3333

食堂兼娯楽室



名作「暗夜行路」を完結した2階書斎



『妻子をかわいがろう。溺れないように愛しよう』と書いています。つまり、彼自身の家庭生活をここで完成させ、同時に

に、白樺派の理念である自由と平等、人権尊重の精神をこの家で具現化しようとしたのかもしれない。現在、志賀直哉旧居は学校法人奈良学園が所有し、保存のための改修工事の後、平成二十一年から全面公開されています。改修の際には、直哉の次男・直吉氏にお話を伺い、ほぼ建設当時の姿に復元しました。直哉が愛した奈良・高畑周辺は古い屋敷街で独特の雰囲気があります。ささやきの小道から、旧居へいたる道、隣家の土塀にはさまれた路地は、とても風情がありますから、秋の散策にはおすすすめです。また、毎週月曜日、専門家を招いて教養講座も実施していますので、お気軽にお問い合わせください。



志賀直哉旧居
館長 北森貞次さん